

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり報告数は15.8人と、前週とほぼ同程度で推移しています。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第11週は18件、第12週は3月18日時点で8件の報告があり、これまでの累計は118件(速報値)となりました。

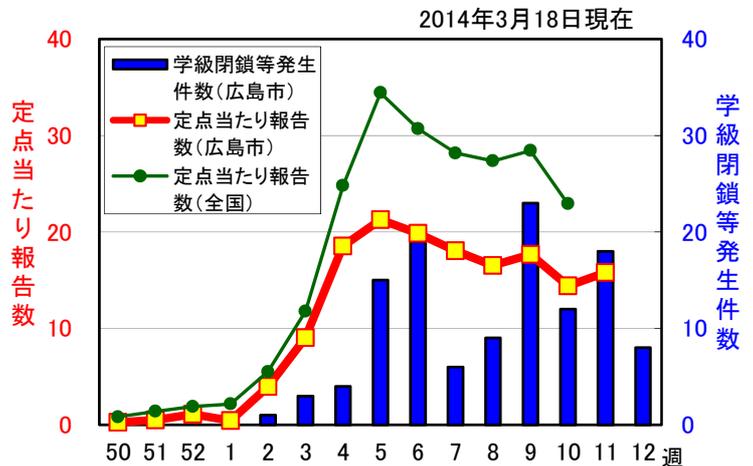
また、市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、B型の割合が増加しています(第10週:43%、第11週:55%)。

引き続き、手洗い・うがいの励行や咳エチケットを心がけるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

2. A型肝炎

4件の報告があり、今年の累計は10件となりました。(次頁参照)

インフルエンザ定点当たり報告数と学級閉鎖等発生件数



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	585	15.81	11.19	⇒	小児科	流行性耳下腺炎	11	0.46	0.73	
	咽頭結膜熱	10	0.42	0.24			RSウイルス感染症	3	0.13	0.13	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	1.88	1.65	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	216	9.00	10.62	⇒		流行性角結膜炎	10	1.25	0.63	
	水痘	11	0.46	1.38	⇒		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	2	0.08	0.72		基幹	無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.20			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.26	
	突発性発しん	11	0.46	0.49			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.11			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29		
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	40	男性(70歳代)・2人、男性(80歳代)・1人
4	A型肝炎	4	10	男性(20歳代)・1人、女性(40歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・市外・1人
5	アメーバ赤痢	1	4	男性(30歳代)

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎	
報告数	広島市	第7週	668	9	38	206	27	1	1	7	-	-	13	13	-	-	-	-	-	-	4
	第8週	611	6	40	247	18	1	1	4	-	-	13	10	-	2	-	-	-	-	-	
	第9週	654	8	49	273	24	4	1	15	-	-	14	6	1	5	-	-	-	-	2	
	第10週	533	13	47	259	17	-	-	9	2	1	14	6	-	3	-	1	-	-	1	
	第11週	585	10	45	216	11	2	-	11	-	-	11	3	-	10	-	1	-	-	2	
定点当たり	広島市	第7週	18.05	0.38	1.58	8.58	1.13	0.04	0.04	0.29	-	-	0.54	0.54	-	-	-	-	-	-	0.57
	第8週	16.51	0.25	1.67	10.29	0.75	0.04	0.04	0.17	-	-	0.54	0.42	-	0.25	-	-	-	-	-	
	第9週	17.68	0.33	2.04	11.38	1.00	0.17	0.04	0.63	-	-	0.58	0.25	0.13	0.63	-	-	-	-	0.29	
	第10週	14.41	0.54	1.96	10.79	0.71	-	-	0.38	0.08	0.04	0.58	0.25	-	0.38	-	0.14	-	-	0.14	
	第11週	15.81	0.42	1.88	9.00	0.46	0.08	-	0.46	-	-	0.46	0.13	-	1.25	-	0.14	-	-	0.29	
全国	第9週	28.44	0.37	2.29	6.78	1.00	0.09	0.12	0.43	0.01	0.02	0.22	0.32	0.01	0.45	0.01	0.02	0.26	0.02	0.18	
	第10週	22.93	0.34	2.19	6.52	1.03	0.08	0.11	0.43	0.01	0.02	0.24	0.28	0.01	0.44	0.02	0.02	0.26	0.02	0.17	

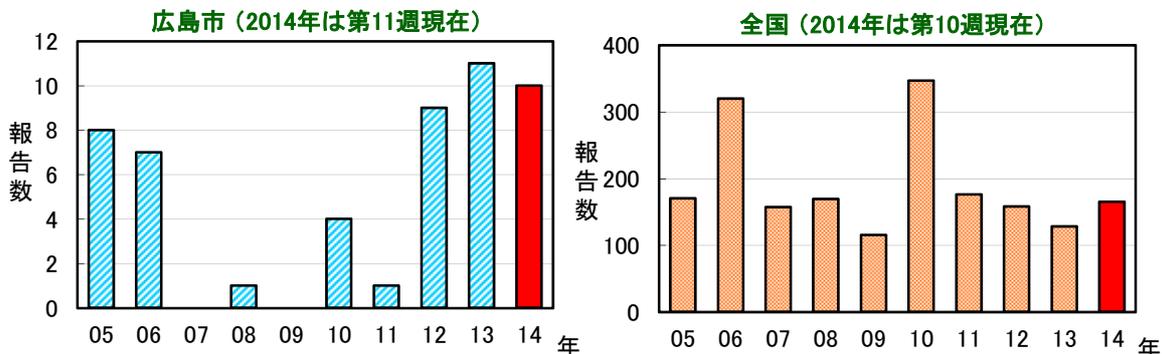
## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	発熱(39.0) 意識障害 熱性痙攣	1	男	2014/02/05	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
その他の疾患	発熱(40.0) 熱性痙攣	2	男	2014/02/05	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】広島市及び全国におけるA型肝炎の年間報告数の推移



A型肝炎の広島市における報告数が、今年はずでに10件となり、これまでの過去最高の年間報告数(2013年、11件)に近づいています。また、全国でも、2011年以降は年間150件前後で推移してきましたが、今年第10週までに165件の報告があり、例年よりも多い状態となっています。

A型肝炎はA型肝炎ウイルスによる疾患で、主な感染経路は、ウイルスに汚染された飲食物を介した経口感染です。潜伏期間は2~7週間、発熱、全身倦怠感、食欲不振、嘔吐、黄疸などの症状を起こします。

小児では不顕性感染や軽症ですむことがほとんどですが、成人では症状も肝障害の程度も重い傾向にあります。特異的治療法はなく、安静や対症療法が中心です。予後は一般に良く、1~2か月の経過後回復しますが、高齢者では重症化することがあります。治癒後には強い免疫が残されます。

A型肝炎の予防のためには、手洗いを励行するとともに、食物の十分な加熱を心がけましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp)

2014年第11週(3月10日~3月16日)